

# 2018年度 活動報告

## 1、自主防災組織全体

- ① 「新防災計画案」をとりまとめ本総会に提案。主な変更点は、仮災害対策本部の設置基準の明確化、行動主体の明記、避難所は自治会が中心となって運営することを規定など。
- ② 以下の長期計画策定プロジェクトに取り組んだ。
  - ・災害時につくば市の防災井戸（桜ニュータウン内）を利用できないか、つくば市と協議
  - ・筑波研究学園専門学校を避難所として利用できないか、つくば市及び学校側と協議
  - ・自主防として備えるべき防災機材・備蓄品の検討
- ③ 防災倉庫の地震対策：棚固定用の金具・ベルトを購入。棚に落下防止用のベルトを設置。
- ④ 地震や台風による建物等の被害調査及び備蓄品アンケートを行った。
- ⑤ 自主防災組織のホームページを立ち上げ公開した。アドレスは、<http://sakurant.org>  
開催した会議は以下のとおり。
  - ・役員会 10回（4/21、5/26、6/30、7/28、9/29、11/7、12/1、12/22、1/26、2/23）
  - ・防災会議2回（7/14、2/23） 長期計画策定プロジェクト会議 1回（4/7）

## 2、ひなん支援部会

- ① 災害時のひなん支援希望者に対する活動：災害時ひなん支援希望者の調査（4月）。ひなん支援希望者とサポーターの確定（6月）。ひなん支援希望者宅の訪問（6月、10月、2月）。
- ② 安否確認（災害時）に対する活動：安否確認のための世帯調査。確認用紙を準備し倉庫に保管。各区の地図（A3）、大きな地図（本部用A2を3部）を準備（倉庫に保管）。黄色のハチマキの保管状況を確認し、失くした人には補充。防災訓練で安否確認を担当。
- ③ 支援技術の習得に対する活動：茨城県日赤に講師をお願いして、6月9日（土）講習会を開催（内容：災害が高齢者に及ぼす影響、トリアージ、展示：個人のできる防災対策（ひなん支援部会作成））
- ④ ひなん支援部会を7回開催した。

## 3、情報部会

- ① 自主防災活動の広報：新防災掲示板を10ヶ所設置（南9を除く各ごみ集積場と中央公園北側）。  
防災だよりを28号から33号まで6回発行。防災掲示板を用いた広報、催し物開催案内等。
- ② 防災メール：サーバー変更に伴う防災メールシステム整備。防災メールの発信による受信と返信のテスト。防災メール不達者に対し受信機の設定を個人対応。納涼祭で防災メール相談ブースを設置。注意喚起メールの発信（台風12、13号接近時と夏に異常高温による熱中症注意喚起）。防災訓練で防災メール発信と受信訓練（登録者193人中131人から受信）。
- ③ 自主防災組織ホームページ：9月に自主防災組織のホームページを開設
- ④ 防災住民意見交換会の開催（1/26）：「防災組織と家庭における防災資機材・備蓄品」をテーマに開催、危機管理課の基調講演と年末に実施した備蓄品に関するアンケート結果の説明後、住民による備蓄品に関する意見交換を行った。

## 4、訓練部会

- ① 防災・消火訓練（11/18）：保安部と自主防合同で防災・消火訓練を実施。子どもプログラム（ロープ担架作り、ブルーシートによる簡易テント作成、アルファ米試食、消防車見学、水消火器による消火体験）を併せて実施。訓練参加者数：122名、子供プログラム：20名
- ② 救急救命講習会（2/16）：交流センター会議室で並木消防署による講習会（参加者18名）
- ③ 備品購入：折り畳みテントと簡易トイレ・のこぎり・AC延長ケーブル・携帯電話充電器